

Kandai Style

2021.10 Vol.492
関西大学通信



自分らしく暮らす。高まる適応力

自分らしく暮らす。高まる適応力



今年の春の経験は今後の自信につながりました

昨年は予定していたイギリスへの長期留学が中止になってしまい、学ぶ意欲が大きく下がりました。入学前から描いていた人生設計を変えられたような気がして、焦る気持ちをうまく消化できずに家族と衝突することもありましたが、自己啓発の本を読んで自分を見つめ直しました。今年は、去年の苦い経験を踏まえて、天気の良い日に散歩に出たり、動画を見ながら自宅でできるエクササイズを行ったり、ストレスにうまく対処する方法を自分なりに見つけることができました。

語学の勉強は毎日少しずつ

英語に興味があっても、勉強の面ではテストが終わると離れてしまいがちでした。コロナ禍で自由な時間が増えてからは、毎日少しずつ勉強を続け、TOEICの成績が上がりました。苦手なリスニングは、分からなかった問題を何度も聞き、音源にかがせて音読をするオーバーラッピング法を実践しています。

高校の教員免許の取得を目指して勉強していますが、大学卒業後は企業に就職したいと思っています。就職活動が本格化する前に、インターンシップや企業研究を通じて、将来就きたい仕事を調べていきます。



外国語学部3年次生 西原 美優 さん

今年の夏は雨が続き、家で過ごすことが増えました。小説を読んだり映画を見たり、勉強の合間に息抜きをしました。大好きな散歩ができなくても、植物の緑を眺めているととても気分が落ち着きました。



この夏のひとつコマ



コロナ禍は2年目を迎え、ワクチン接種も進んでいますが、収束までもう少し時間はかかりそうです。大阪府では春と夏に緊急事態宣言が出され、大学の授業形態も柔軟な対応が求められています。

外出を控えている間、関大生はどのように過ごしていたのでしょうか——自分らしく暮らすための工夫や実情を尋ねました。急な環境の変化に対しても考え方や視点を変えられる適応力が、成長のカギとなりそうです。



ハガキや手紙、最近いつ書きましたか？

コロナ禍で外出できなかった間、いろいろな国の人とハガキの交換をしました。今もヨーロッパやアメリカ、オーストラリア、シンガポールなど各地と交流しています。日本の郵便局には「ご当地フォルムカード」という都道府県別のハガキがあります。絵柄もかわいらしくて、不規則な形のハガキは世界的に珍しく、友人からも大人気です。ハガキの交換は、外国の切手や消印を見る楽しみもありますし、相手のことを考えながら、大阪の観光地や楽しいエピソードを丁寧に書くことで、とても心が落ち着きます。遠く離れた人と簡単に連絡がとれる世の中ですが、これからもハガキでの交流は続けていきたいです。

留学の経験や知識を後輩に伝えたい

アルバイトは学生の指導のほか、日本の大学院に留学したい方のためのオンライン相談をしています。専門分野に合った志望校の見つけ方、研究計画書や志望理由書の書き方、論文作成のポイントや留学ビザの準備など、大学院に入学するために必要なことを伝えています。

修士論文の作成で忙しい毎日ですが、韓国語を勉強して気分転換をしたり、軽い運動をしたり、心と身体の健康にも気を付けています。



商学研究科 博士課程前期課程 2年次生 宿輝 さん

夏は友達と一緒に奈良に行き、かわいい鹿やきれいな景色を見てリラックスできました。カメラが趣味なので、たくさん撮影しました。奈良国立博物館は、キャンパスメンバーズの制度を使って無料で観覧できました。



世界中の人とハガキ交換ができる「ポストロッシング」というサービスで、もっと交流の輪が広がりそうです



この夏のひとつコマ

資格の勉強を「学び続けるペースメーカー」に

決して英語が得意というわけではないのですが、せっかくなので時間ができたので、TOEICの受験をしようと思いました。目標を設定し、モチベーションを保ちながら勉強を続けました。

昨年は「介護職員初任者研修」の資格を取得し、介護の技術的な面だけでなく、衛生の基礎知識もしっかり学びました。衛生を意識するようになったら、風邪もひきにくくなりました。奈良県の曽爾村にある「青少年自然の家」でスタッフとして子どもたちに対応するときも、学んだ知識は役に立ちました。資格講座の受講はオンライン対応のものが多く、またコロナ禍で手厚くなった部分もあると思うのでオススメです。

懐かしい友人に連絡

コロナ禍以前は「会える」友達に連絡をとることが多かったのですが、「会えない」状況は遠方の友人に連絡するいいきっかけになりました。高校の友人と、アプリでグループ電話をつないだままにして、それぞれが話したいときに話しました。中には「1時間後に洗濯します」と宣言する一人暮らしの人も。懐かしい思い出話、違う専門分野の勉強の話などを聞けて楽しかったです。



法学部4年次生 黒田 愛美 さん

「青少年自然の家」のチャレンジキャンプでは、大洞山登山や野外炊事などのサポートをしました。初めは緊張していた子どもたちが笑顔になって、上手にテントを組み立てられるようになった姿を見て、私も元気をもらいました。



家庭菜園を始めた父の手伝いも気分転換になりました



この夏のひとつコマ

寂しさを感じるからこそ優しくなれる

春学期は一時期、実験を含めてほぼ全ての授業がオンラインになり、授業と課題で多忙な毎日でした。昨年は友達と同じ授業を受けていましたが、今年からは専攻によって授業が異なるため、孤独感を覚えることもありました。塾講師のアルバイトでは、中高生から文化祭や修学旅行がなくなったと聞きました。寂しさや残念な思いがよく分かりましたので、自分から率先して話しかけるようになりました。

人とつながる大切さを実感

時間管理はスマートフォンのスケジュール機能を使っています。前日のうちに翌日の予定を確認し、空き時間があたら何ができるかを組み立てて、効率よく過ごしました。それでも勉強がはかどりに、夜遅くまで起きていることも。数回、淀川の河川敷で趣味のギターを片手に弾き語りをしました。自分の他には誰もいなくて、のびのびと歌い、Instagramでライブ配信しました。夜も遅かったのに、みんなが見てくれてうれしかったですね。リクエストに応えるなどして、リアルタイムで人とつながったと実感できました。満開の桜の下、とても幸せな気持ちになれました。

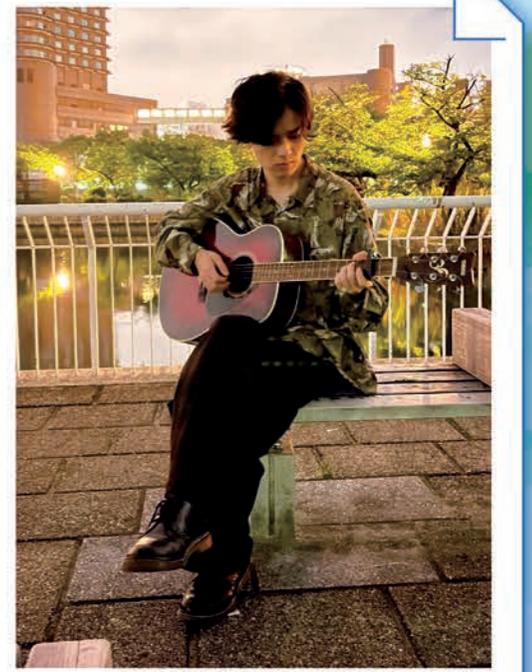


システム理工学部3年次生 松浦 亮 さん

夏休みはインターンシップに週2回ほど参加しました。空いている日は自宅でアニメ鑑賞やゲームをしたり、帰省している友達やアルバイト仲間会ったりしました。閉まっている飲食店も多いですが、広場で一緒に花火をして過ごすだけで十分楽しかったです。



この夏のひとつコマ



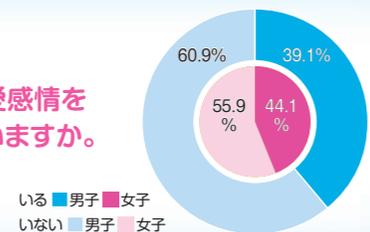
関大生の恋愛観と結婚観

今月号の誌上教室では、アンケートを通して関大生の恋愛観と結婚観を調査しました。恋愛と結婚についてさまざまなことを考え、悩んでいる実態がうかがえました。今、この誌面を見ているあなたも自分に置き換えて、改めて考えてみませんか。

アンケート期間：7月9日～7月25日 対象者：未婚の関大生 回答者数：228人

質問 1

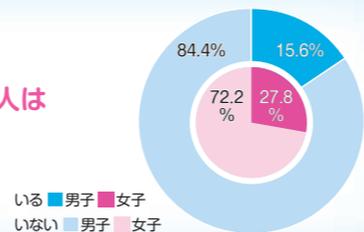
好きな人(恋愛感情を感じる人)はいますか。



いる ■ 男子 ■ 女子
いない ■ 男子 ■ 女子

質問 2

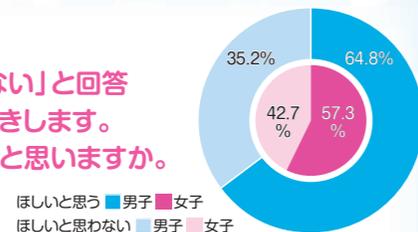
付き合っている人はいますか。



いる ■ 男子 ■ 女子
いない ■ 男子 ■ 女子

質問 3

質問2で「いない」と回答した方にお聞きします。恋人がほしいと思いますか。



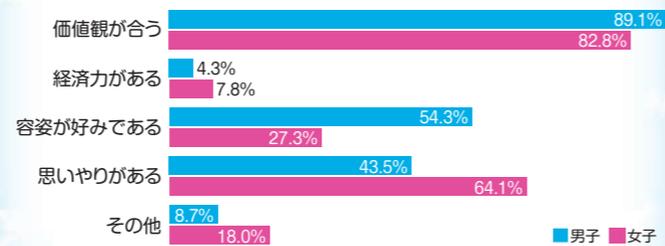
ほしいと思う ■ 男子 ■ 女子
ほしいと思わない ■ 男子 ■ 女子

「ほしいと思わない」と回答した方からは

- 一人が楽だから。
 - 面倒くさいから。
 - 仲の良い友達と楽しく過ごせているから。
 - 別れた恋人のことが考えられず、他の人のことを好きになれる気がないから。
- などの意見が寄せられました。

質問 4

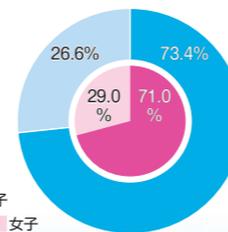
付き合う人に求めることは何ですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。



その他の回答の中には、「尊敬できる」「安心感」などがありました。

質問 6

将来結婚したいと意思しますか。



思う ■ 男子 ■ 女子
思わない ■ 男子 ■ 女子

「将来結婚したいと思う」と回答した方からは

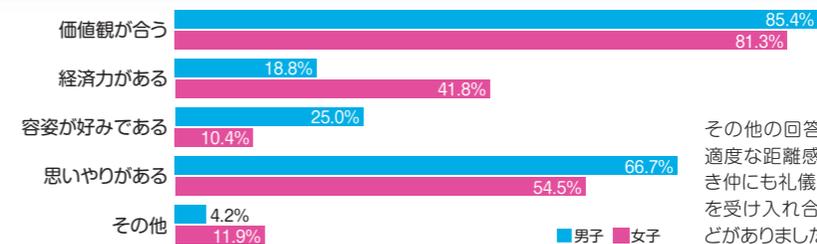
- 子どもが欲しいから。
 - 家庭を築きたい。
 - 孤独死したくない。
 - 好きな人とずっと一緒にいられたら、とても幸せだと思うから。
 - 既に結婚したい相手と出会い交際しているから。
- などの意見が寄せられました。

「将来結婚したいと思わない」と回答した方からは

- 同性愛者なので結婚という形にこだわっていないため。パートナーとして生きていくことはあっても結婚は難しいと思う。
 - 籍を入れるかどうかは重要だと思わない。大切な人と一緒にいられたらいいと思う。
 - 独身の方が気楽。
 - 面倒そうだから。
- などの意見が寄せられました。

質問 7

結婚相手に求めることは何ですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。



その他の回答の中には、「姑・舅との適度な距離感」「飾らず自然に、親しき仲にも礼儀ありでいられる」「欠点を受け入れ合える」「尊敬できる」などがありました。

質問 8

あなた自身、恋愛や結婚に関して何か悩みごとはありますか。または、今まで付き合ったり、結婚を考えたりする中で、悩んだこと、つらかったこと、後悔したことなどご自身の経験でなくても周囲の方から聞いたことはありますか。あればその内容を回答できる範囲で教えてください。

- 日本で夫婦別姓が現実に浸透しないこと。
- 同性としか交際できないので出会いが少なく、友人の恋愛の話にもうまく参加できないのが悩み。
- 今まで付き合った人の中に束縛が激しい人がいてつらかった。家にいる間はすぐにLINEの返信をしないと怒られ、早く返信がほしいから入浴時間を短くすると怒られた。恋人より部活を優先したら部活をやめると言われたのがつらかった。
- 恋愛に興味がないので、世間の恋愛至上主義的な価値観にうんざりする。どんな人がタイプかとか、こんな人が恋人だったらどうか、恋人はできたの?など、「誰もが恋愛したい」という前提の会話が苦痛。
- 過去に異性から容姿を理由にいじめられていたことから、愛される自信や好意を抱いてもらっている確信が持てないこと。
- セックスをしたいと思わないため、そういう行為を迫られるのではないかと不安に感じることがある。
- 自分がひとり親なので、両親がいる生活が想像できない。仲の良い夫婦のイメージがない。結婚はしたいが結局自分一人で生きていけるのではないと思う。
- 恋人との価値観の違いは楽しむことができるが、明らかに自分が劣っている点があると、恋人に自分が釣り合っていないと感じ悩むことがある。

回答者228人の性別の内訳は、男64人・女162人・答えない2人でした。男女別集計では「男」または「女」と回答した方のみを集計していますが、自由記述では「答えない」を選択した方の回答も含めています。

質問 5

恋人を大切にすることは具体的にどうのことだと思いますか。

- お互いを理解し、尊重すること。
- その人を尊敬し、お互いが困っていたら共に支え合うこと。
- 何か問題が起きても、逃げずに話し合って解決しようと一生懸命歩み寄る努力をすること。
- 家族のように大切にすること。
- 常に相手を思いやる気持ちを持ち、自分がされて嫌なことはしない。



PROFESSOR'S COMMENTS

文学部 多賀太教授

女性では、交際相手にはあまり重視しない「経済力」を、結婚相手には4割以上が求めています。出産後に安定した収入を得ることへの不安が関係しているのかもしれませんが、

男性では、女性に比べて交際相手に「容姿」を求める傾向にあります。結婚相手になると「思いやり」重視の人が増えるのは興味深いです。

自由記述からは、異性愛至上主義や、恋愛・結婚を当然と見なす社会の風潮から生きづらさを感じている人の声が聞かれました。同性・両性を好きになる人、性や恋愛に関心のない人など、人々の性的指向はさまざまであることを理解し、

多様な生き方が対等に認め合える社会を目指したいですね。交際・結婚するにしても、そのあり方は多様化していますし、相手との心地よい関係のあり方も人それぞれです。世間のイメージにとらわれすぎることなく、また自分の理想を一方的に相手に押しつけるのでもなく、お互いにコミュニケーションを取り合って気持ちを確かめ合い、互いに対等で心地よい関係を築いていければと思います。

次回のテーマは… 「秋深し、芸術の秋にオススメの展示会」

11月号では、文化会と学術研究会の活動を紹介するとともに、10月31日(日)～11月3日(水)に開催する第44回関西大学統一学園祭を取り上げます。



金融業界/法人営業

株式会社三菱UFJ銀行

富永 雄介さん

広島県 崇徳高等学校出身
2014年環境都市工学部卒業

お客さまと真剣に向き合い 信頼関係が築けたときに 銀行員としてのやりがいを感じます

株式会社三菱UFJ銀行の本店で上場企業の法人営業を担当する富永雄介さんは、環境都市工学部で橋梁や水路など社会インフラ基盤の設計や維持管理に関する勉強をしながら、体育会野球部にも所属していました。人と接することが好きな富永さんは、就職活動中、自分という個人を強く評価してもらえる仕事がしたいと考え、形はあるが色はない「マネー」を介してさまざまな業種の人と関わり、多種多様な経営課題にチームとして携わることができる銀行を志望したそうです。

大阪の信濃橋支店と兵庫の神戸支店で中堅・中小企業の法人営業を経験した後、2019年5月に東京に赴任。現在は上場企業が抱える課題を検討し、必要な融資や証券・信託・リースと連携した提案をするなど、課題解決に向けた業務に従事しています。総合金融グループとして、さまざまな専門知識を有する関連会社と協業しながら、一つのプロジェクトを達成することは、戦略をプレーに落とし込み結果に結び付ける野球のプロセスに似ていると富永さんは言います。15年間続けた野球のチームプレーで培われた協調性が生かされています。

入行時、営業目標の達成と、顧客にとって有益な提案との板挟みに悩んだという富永さん。顧客ファーストの精神にのっとり、財務状況だけでなく企業理念や歴史を詳細に調べ、中長期的な計画から逆算して、項目ごとに課題を抽出し、さまざまな提案をしたそうです。そんな熱意が相手に伝わり、信頼関係が築けるようになると、営業目標は自然と達成できるようになったそうです。顧客に真剣に向き合う姿勢を評価してもらえることが、銀行員の最大の魅力だと言います。

「今後は海外の支店に勤務し、日本企業の海外進出の支援を経験した上で、日本国内で上場企業の法人営業を担当したいです」と夢を語る富永さんは、「胸を張って発言できる何かを見つけることを意識して、学生生活を送ってください」と在学生にエールを送りました。



ある1日の スケジュール

- 8:00 出社 メールチェック
- 8:30 グループミーティング
- 9:00 顧客訪問
- 12:00 昼休憩
- 13:00 ミーティング
- 14:00 顧客訪問
- 17:00 稟議書、提案書の作成
- 19:00 退社



必須アイテムは、パソコンにノートとペン、スマートフォンに名刺入れ。

Banker

VIVA!!

学び易



システム理工学部 機械工学科

「特別研究1」

高橋 智一 准教授

人びとの暮らしを支えるロボット研究

研究を通し、問題に諦めずに取り組み、解決する能力を養います。

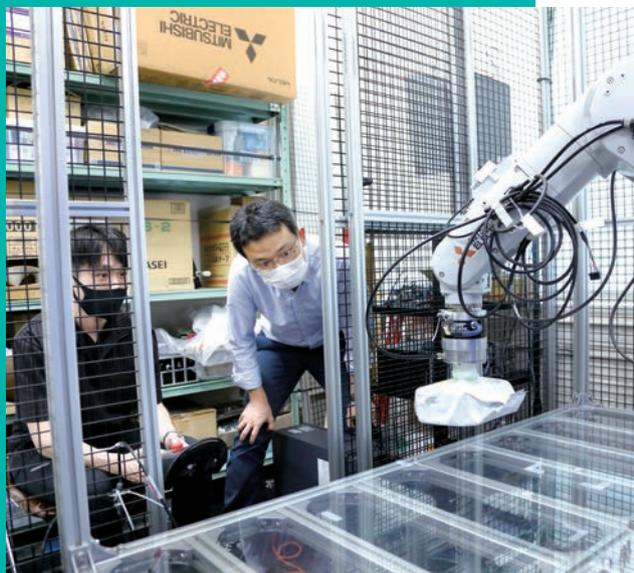
高橋智一准教授の研究室では、主に「空気圧を用いた新しい原理のロボットハンドの開発」と「医療用把持機構の開発」を行っています。4年次生の7人は「汎用性の高いロボットハンドの製作」と「心臓手術用の吸着装置の製作」に分かれて研究を進めています。

ロボットハンドの研究では、物流倉庫等での商品の仕分けや箱詰めに対応できる、不定形の物体や多様な形状をした物体をつかめるロボットハンドを研究しています。水などの液体中にある物体を把持できるのも、このロボットハンドの特徴の一つです。また、学生には企業との共同研究にも協力してもらっています。

一方、吸着装置の研究では、医師からの要望を受け、心臓を動かした状態で行うバイパス手術で使用する装置の開発に取り組んでいます。現在使用されている市販の装置は、1カ所が外れると、他の吸着部分も外れてしまうため、研究室では各吸着部分に弁を装着することで、独立して吸着する装置を作製しています。多くの人の役に立つ研究は学生にとってやりがいがあるようです。

学生一人一人がテーマを持ち、実際にモノを作るうえでの課題に取り組んでいます。普段から課題について相談を受けつつ、2週間に一度行われる研究会で議論しています。また、文献を読み、研究分野の理解を深める勉強会なども行っています。機械工学科では夏休み前のポスター発表や2月の卒業論文の口頭発表がありますが、研究室では、その他に学会における発表の機会もあります。

「学生には、研究を通して問題解決能力を身に付けてほしいと思います。問題が発生したとき、まず自分の持つ知識でどう対応すればよいか考えてほしい。不足している知識があれば、自ら不足する情報を探し、勉強して補うことで、問題解決に取り組んでください。そのため問題に対する解決策を示すのではなく、考える手がかりを示すようにしています」と高橋准教授。「4年次生で課題に取り組むときは、柔軟に対応してほしいです。失敗しても諦めず、根気強く試行錯誤し、卒業論文作成で成果をしっかりとまとめる体験をしてください」と締めました。



藤林知徳さん(理工学研究科M2年次生)

ロボットに興味があり、この研究室を選びました。物流業界では全てがオートメーション化されておらず、まだまだ人の手が介在していることを知り、自分の手でこの課題を解決していきたいと思い、ロボットハンドの研究に取り組みました。2週間ごとの報告会ではプレゼンテーション力が身に付きました。今後は、物づくりの経験を医薬品会社の設備の自動化に生かしたいです。



中野雄太さん(理工学研究科M2年次生)

祖父を亡くした経験から医療機器の開発に興味を持ち、この研究室を選びました。手術器具に関する知識がなく、関連する書籍や論文を探して知識を深めることに苦労しました。この研究を通して、分からないことを追究する能力や失敗しても諦めない忍耐力、論理的思考を学びました。研究室で培った物づくりの一連のプロセスは、就職先でも生かせると思っています。

コロナ禍での支援から起業相談まで ——きめ細かい関西大学校友会のサービス——

大学を卒業して、もし仕事などの相談相手が周りにいなければ、どうすればいいのでしょうか。そんなことを考えたことはありますか？この悩み、実は案外すぐにやってくるものです。そのときに慌てないで済むヒントは校友会。4年前、商学部を卒業した小磯純奈さん（株式会社inxR代表取締役）のケースはその典型です。ご本人に聞きました。



株式会社inxR代表取締役 小磯純奈さん

私は卒業後、コンサルティング会社に就職しました。後継ぎ支援の新規事業部の立ち上げなどに参画しましたが、中国での仕事の誘いを知人から受けて退職。しかし、中国では目的意識を見いだせずに帰国しました。この苦しい経験から「好きなことを仕事にしたい」と決意し、フリーのデザイナーを経て独りで起業しました。

生まれ育った大阪から思い切って飛び出し、首都圏で家賃が安めの埼玉に引っ越ししてきたのはよかったのですが、困ったのはリアルな相談相手です。そこで校友会を頼ってみることに。埼玉支部長から会員の方をご紹介いただき、東京センターのイベント情報なども教えてもらいました。次々と相談できる機会が増え、「私の世間」はあっという間に広がったのです。

世代の離れた卒業生というと、何となく堅苦しい印象があるかもしれませんが、勇気を振り絞って相談し、時には生意気な質問も重ねた私に、先輩方は親切に対応してくださいました。inxRでは、企業のVR（仮想現実）の活用支援や開発を行っています。皆さんから教えていただいた経験談やアドバイスを生かし、この調子で新たな分野に挑戦します。

校友約49万人、国内外に240支部

小磯さんが訪ねた「関西大学校友会」（会長：田中義信）は、現役学生と同窓生約49万人を会員とし、結成124年。日本の私立大学でも屈指の組織です。

成績優秀者への奨学金制度を設け、学術・文化・スポーツなどの課外活動を支援するほか、コロナ禍対策（修学支援募金など）、キャリア支援、学園祭への援助や新入生への記念品（学年暦入り卓上カレンダー）など学生生活全般へのきめ細かい支援が目立ちます。

千里山キャンパスに本部を置き、国内に120カ所、海外に21カ所の地域支部をはじめ、他職種会などあわせて支部は240を数えます。さまざまな交流行事を通して、卒業生からの各種相談に対応します。また、首都圏では東京駅前の東京センターを訪ねると、相談内容に応じた卒業生の紹介など、適切にアドバイスしてくれます。



校友会の海外支部

学部・研究科・併設校トピックス

法学部／法学研究科

「タイピング練習の秋」のススム

コロナ禍で制約はありますが、秋はさまざまな楽しみの季節。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋。3密を避けて行うのは容易ではありませんが、それでも気持ちの良い季節をエンジョイしたいものです。

私のお勧めは、パソコンのキーボードのタイピングを練習することです。春学期にある程度の単位修得ができていれば、少し時間に余裕もあるはず。普段、ゼミのレジュメ以外はフリック入力でも済ませていても、タイピングは就職後に必須のスキルです。アプリやウェブサイトでぜひスキルアップを。（入試主任 原弘明教授）

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

日中韓院生フォーラムを開催

昨年3月には実施することのできなかった北京外国語大学主催の日中韓院生フォーラムを今年度は5月15日にオンラインで開催することができました。途絶えてしまうことなく次にバトンをつなげたことの意義は大きく、院生の皆さんにはさらに頑張ってもらいたいと思います。



(東アジア文化研究科 奥村佳代子教授)

経済学部／経済学研究科

BYOD

以前と比べて、ノートパソコンを大学に持つてくる学生が多くなったように思います。

これまでもゼミの時間では、パソコンを持ってきて発表資料の作成を行うということはよくありましたが、最近は通常の講義でも、自分のパソコンで資料を見ながら、講義を受ける学生が多くなりました。

関西大学ではWi-Fiが整備されているなど、学生がパソコンを使いやすい環境が整っています。自分のパソコンを有効に活用して、自身の学びを深めてもらいたいと思います。

(教学主任 藤中裕二准教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

コロナ禍における新たな挑戦

これまでシンガポールで展開してきたビジネスリーダー特別プログラム(BLSP)の核となる「海外ワークショップ」は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、去年に続いて今年も中止せざるを得なくなりました。

しかしこの状況下でも、英語でプレゼンする機会を学生に提供するために、BLSP履修学生によるプレゼン大会を今年度の秋学期に実施する予定です。もちろん学生が企画・運営します。企業からコメンテーターも招き、緊張感のある学びの場にしたいと思います。

(中邑光男教授)

社会学部／社会学研究科

パソコン教室を全面リニューアル

伝統的に情報処理教育に力を入れている社会学部では、計500台以上のパソコンを活用し、Microsoft Officeの基礎からデータ分析、動画編集、プログラミングなど、幅広い情報処理教育が実践されています。今春、全教室のパソコンが最新機種に更新され、より快適な学習環境が整いました。



(入試主任 松田剛准教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

学部ウェブサイトのリニューアル

このたび、政策創造学部では、ウェブサイトを一新いたしました。

スマートフォンの普及により、ウェブサイトもそれを前提にしたデザインにすることが求められ、学部が提供する情報も、現在の社会的ニーズに、より適合的なものにする必要がありました。この見直し、改めて学部のポリシーや自己定義の再検討を促し、それがカリキュラムを含めた制度全体のブラッシュアップにつながり、その結果、学部が活性化しています。新しいウェブサイトをぜひご覧ください。

(五十嵐元道准教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

楽しい語学の自己学習

より語学堪能になるにはさらなる学びの時間が必要です。だからこそ、授業以外でもリスニングやリーディングを楽しく取り組むことをお勧めします。

リスニングあるいは、リーディング教材には比較的やさしく楽しめるものを選び、例えば毎日15分程度、定期的に読みます。それが難しい場合は週に3～6回、各20～30分ずつにします。そしてそこで聴いたり、読んだりした内容についてのご自身の考えや意見を書き出しても良いでしょう。

(アラン・ハント教授)

人間健康学部／人間健康研究科

ホームカミングデーを開催

6月6日、人間健康学部創設10周年記念事業としてホームカミングデーを開催しました。昨年度に開催予定でしたが、コロナ禍の状況をふまえて1年延期の上、Zoomでの開催となりました。当日は卒業生51人の参加があり、かつての所属ゼミでの交流会、在学生との職業別交流会などが行われ、終了後も個別のブレイクアウトルームで交流が続けられました。事後アンケートにおいて、今後も交流の場を期待する声が多く寄せられたので、キャンパス祭などで実施できないか、検討を始めています。

(学生主任 神谷拓教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

コロナ禍に思うこと

ソーシャルディスタンスの確保、マスクの常時着用、入室前のアルコール消毒や検温など、もはや当たり前の習慣となりました。新型コロナによって、日常生活は大きな変化を強いられました。希望の光も目の前に見えてきました。本稿を書いている7月初旬、関西大学でも新型コロナワクチンの職域接種が行われています。一日も早く新型コロナが終息することを願ってやみません。

理工系学部には、実験・実習科目が多く配当されています。それらの内容は多種多様です。実験・実習を行う目的の一つは、自ら手を

動かし、実際に目で見て事象を確認することにあります。残念ながら、それらの実施に際して3密が避けられないことがあります。この場合、多かれ少なかれ、さまざまな制限を設けることにつながります。研究室での活動もしかりだと思います。失うものが大きいことは言うまでもありません。元の形に戻ることをただただ祈るばかりです。

コロナ禍において、学生の皆さんもさまざまなことを考えさせられる機会が多いことでしょう。

「know-why」という語をあげます。理由、

原因、目的、意味を考えることの重要性を説く語と私は理解しています。うまくいったことや思い通りになったこと、失敗したことや予想が外れたことには、必ずそれぞれの理由、原因があります。後者の場合、失敗を成功のもととするためには、「原因を正しく把握すること」が大切です。もちろん、理由を明らかにできるかは別の問題です。

苦難の時だからこそ、「know-how」とともに「know-why」の大切さも再認識してほしいと思います。

(環境都市工学部 村山憲弘教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2021年度秋学期 学年暦 試験期間や休業期間などスケジュールを把握し、計画的に学生生活を送ってください。

月	学部	大学院	専門職大学院	留学生別科
11月	●大学創立記念日(4日) ※授業日			●大学創立記念日(4日) ●日本語科目試験(22日 ※予備日:24日) ●日本語科目試験成績発表(29日)
12月	●冬季休業(26日～1月6日)			●冬季休業(26日～1月6日)
1月	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(19日) ●秋学期試験(21日～28日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(19日) ●秋学期試験(27日)	●授業再開(法務7日、会計8日) ●秋学期授業終了(法務20日、会計31日) ●秋学期試験(法務21日～31日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(31日)
2月	●入学試験(1日～7日)			●秋学期定期試験(1日 ※予備日:2日) ●秋学期成績発表(8日) ●日本語集中演習(14日～28日)
3月	●卒業成績発表 ●在学生成績発表 ●在学生履修届受付 ●卒業式(19日) ●春季休業(21日～31日) ●学年終・秋学期終了(31日)	●修了成績発表 ●在学生成績発表 ●在学生履修届受付 ●学位(修士・博士)記授与式(22日) ●春季休業(24日～31日) ●学年終・秋学期終了(31日)	●専門職学位課程修了者発表 ●在学生成績発表 ●在学生履修届登録 ●学位(専門職学位)記授与式(22日) ●春季休業(24日～31日) ●学年終・秋学期終了(31日)	●日本語集中演習成績発表・修了成績発表(9日) ●秋学期修了式(11日) ●春季休業(21日～31日) ●学年終・秋学期終了(31日)

※役職・資格は9月30日時点

※詳細はインフォメーションシステム等で確認してください。

関大トピックス

高野芹奈さんが東京オリンピックで躍動！

東京五輪セーリング競技代表の高野芹奈さん(人間健康学部4年次生)は山崎アンナさんとペアを組み、7月27日から開催された49erFX級に出場しました。

予選12レースの中で、7月31日に行われた第10レースでは本大会最上位となる4位に入る健闘を見せ、総合18位でフィニッシュしました。

目標としているメダルレースへの出場は叶いませんでしたが、レースを終えた高野さんは「リオオリンピックに引き続き、応援をいただき本当にありがとうございました。今回、自分の目標を達成することができず悔しい気持ちでいっぱいですが、この東京オリンピックを目指し参加したことで、アスリートとして、また一人の人間として、本当に素晴らしい勉強をさせていただきました。改めて皆さまのサポート、そして応援に感謝いたします。今後も、この経験を糧にセーラーとして、また女性として大きく成長していきたいと思っております」と語りました。



写真提供：高野芹奈さん

卒業生の清水希容さん、和田伸也さんがメダルを獲得

8月5日、東京オリンピックの空手女子形において、卒業生の清水希容さん(2016年文学部卒業)が銀メダルを獲得しました。

空手は日本発祥の競技で、五輪では東京大会で初めて実施されました。相手の動きを想定して攻撃技と防御技を演武する形で銀メダルを獲得した清水さんは「貴重な経験をさせていただきました。武道の聖地である母国で優勝するという思いでやってきたので悔しいですが、ここまで支えてくれた方々に感謝したいです」とコメントしました。

また8月24日から東京パラリンピックが行われ、卒業生の和田伸也さん(2002年社会学研究科修了)がロンドン大会、リオ大会に続いて3大会連続出場の快挙を果たしました。

陸上3種目に出場した和田さんは、男子5000m(視覚障害T11)は15分21秒03で銅メダル、1500m(視覚障害T11)は4分5秒27で自己ベストを更新して銀メダル、マラソン(視覚障害T11・T12)ではT11パラリンピックコード・アジア新記録の2時間33分5秒でフィニッシュし9位となりました。



写真提供：空手道マガジンJKFan



写真提供：共同通信社

関大人 四方山話 ◆「デジタルとアナログ」

よもやまばなし

情報推進グループ長 辻本 克之



私は甘党である。デパ地下の高級菓子からスーパーマーケットのお得用パック品まで、好みはさまざまである。コンビニスイーツもお気に入りだ。新作や季節限定商品は気になるところである。

コンビニスイーツは大量生産品であるが、そのクオリティを保つために、手作業の製造工程があるそうである。私見であるが、この手作業も現代の技術をもってすれば機械化することは可能であろう。では、なぜそうしないのか。恐らく、機械化するまでのコスト、

ここから生まれる利益、手作業にかかる人件費等を比べて、経済的合理性を踏まえた選択をしたのだと思われる。ましてや、新作を次々に発売するとなれば、手作業の方に軍配が上がる。

情報システムにも同じことが言える。デジタル化は省力化、効率化に寄与するが、ゼロからの開発にはコストがかかる。人が判断、処理するアナログな作業とのベストミックスが合理的なときもあり、デジタル化が万能ではないことを日々痛感している。

編集後記

10月号では「自分らしく暮らす。高まる適応力」について特集しました。悲しいこと、つらいことが積み重なる日々の中でも、大切なことに気づき、学び続けている関大生がたくさんいます。そのたくましさを持っていれば、これから先どんな荒波が来ても苦境をバネに飛躍できると思います。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋…。秋は気候も良く物事を始めるにはうってつけです。今まで当たり前であったことが「非日常」になった今だからこそ、視野を変えて新しい一歩を踏み出してみるのもいいかもしれませんね。(広報課 久保まな)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日：2021年10月1日

発行：関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話：06-6368-1121(大代表)

関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

今月の表紙

写真提供：(左上)西原 美優さん(外国語学部3年次生)

(右上)黒田 愛美さん(法学部4年次生)

(左下)宿 輝さん

(商学研究科博士課程前期課程2年次生)

(右下)松浦 亮さん(システム理工学部3年次生)

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。